

「がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究」について

当院では、下記の調査研究に参加しております。この調査研究についてご質問等ありましたら、下記問い合わせ窓口までご連絡ください。

研究概要

全国のがん診療連携拠点病院が国立がん研究センターに提出している院内がん登録データと、厚生労働省に提出しているDPC診療データから、氏名・診察券番号を削除して代わりに院内がん登録で個人情報を削除した際に置き換えられた専用番号を付けたものを、国立がん研究センターに集積してデータベースを作り、様々な分析を行います。

がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とします。数多くのがん診療連携拠点病院が、当研究に参加しています。

方法

国立がん研究センターに毎年提出している「院内がん登録データ」と、厚生労働省に提出している「DPC診療データ」の2つの既存ファイルの各種情報を、国立がん研究センターに提供します。

データの提供は、アクセス権を付与された担当者のみが利用できるシステム上で行われます。収集されたデータは国立がん研究センターの高セキュリティ領域に保存され、研究責任者により個別のアクセス権を付与された者のみがアクセスできる状態で保管されます。外部へのデータの提供は行いません。

取扱いデータ

調査対象となるのは、2012年以降に当院を受診され、院内がん登録に登録された患者さんの情報です。このデータに含まれる情報は以下のものが挙げられます：性別、診断名、診断年月、初回治療方針、ステージ、施設名、入退院年月日、診療明細などの内容です。

研究はすでに収集されたデータファイルのみによって行い、新たな調査、アンケート等はありません。また、これらの情報を抽出・保存する際の作業は、院内で行い情報はすべて匿名化します。よって、氏名や住所などの個人情報、当院から外に出ることは一切ありません。

研究成果の公表について

今回の研究で得られた結果は、「厚生労働科学研究（がん臨床研究事業）「がん対策における管理指標群の算定における既存データの可能性に関する研究」等の研究報告書に掲載されるとともに、学会や雑誌などで報告されることがあります。報告に際しては、常に集団を記述する数値データのための報告とし、個人が特定される可能性のある個別データの報告・公表は一切行わず、かつ特定の個人が発表成果から同定できないように十分に配慮されます。

患者さんもしくは患者さんの代理人の方におかれましては、情報が当該研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。
この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

問い合わせ窓口

横浜労災病院 医事課 院内がん登録室 または 腫瘍内科 有岡 仁 TEL 045-474-8111